

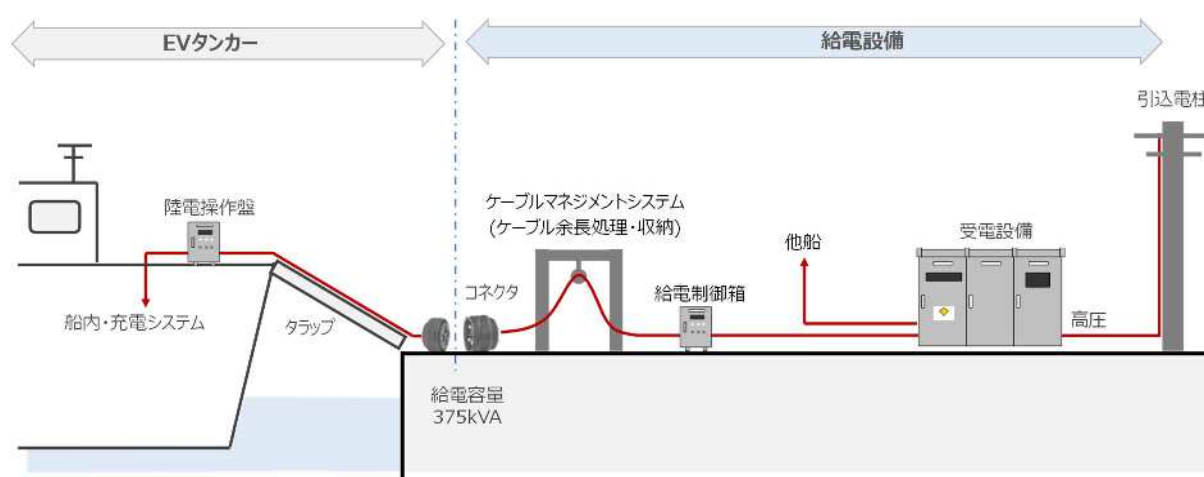
EVタンカー給電ステーションの概要

- 給電ステーションは、引込電柱、受電設備、ケーブルマネジメントシステム、コネクタにより構成されており、本事業の推進と実現に向けて東京電力グループが独自に開発しました。
- EVタンカーのタラップ先端に設置された船側コネクタとケーブルマネジメントシステムの陸側コネクタを接続し、船上の陸電操作盤にて給電操作を行います。
- EVタンカーが1日（約12時間）に運航するために必要な電力を、夜間停泊中（約12時間）に充電可能な大容量給電システムとなります。
- 独自開発したケーブルマネジメントシステム（潮位や波による船舶の揺れを吸収）や、国外で実績があり信頼性の高い船舶用給電コネクタを採用することにより、安全で負担の少ない充電作業を可能としています。

<仕様>

- (1) 受電電圧 6.6kV
- (2) 給電容量 375kVA/隻
- (3) 同時給電可能隻数 2隻
- (4) エネルギーサービス事業者 日本ファシリティ・ソリューション株式会社
- (5) 開発・施工 株式会社東光高岳

<給電設備構成イメージ>



<受電設備外観>



<ケーブルマネジメントシステム>

